

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月3日(2020.9.3)

【公開番号】特開2019-150671(P2019-150671A)

【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-037

【出願番号】特願2019-112339(P2019-112339)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月17日(2020.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音データの割り当て対象とされるチャンネルの数が有限とされ、開閉可能な扉部を有する遊技機であって、

抽選遊技の進行に応じて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

当該遊技機の状態を検出する状態検出手段と、

当該遊技機が扉開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、複数種類の報知音のうち扉開放報知音を前記チャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な報知音割当手段と、

各種の演出音をチャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な演出音割当手段と、

、遊技者による操作に基づいて演出音の音量設定値の変更を受け付ける音量設定値受付手段と、

前記音量設定値受付手段による音量設定値に基づいて演出音の可聴ボリュームを調整可能な可聴ボリューム調整手段と

を備え、

所定の状況にあるときに前記音量設定値受付手段によって演出音の音量設定値の変更が受け付けられて、該変更された音量設定値が反映されるかたちで前記可聴ボリューム調整手段によって前記可聴ボリュームが調整されると、前記チャンネルに対して演出音の1つである音量調整確認音を割り当てて出力しうるものであり、

前記可聴ボリューム調整手段は、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音のチャンネル割り当てがなされている状況において当該遊技機が前記扉開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、前記表示演出の進展に応じた前記演出音割当手段による各種の演出音のチャンネル割り当てこれ自体は継続されるなかで、演出音の可聴ボリュームを、前記音量設定値受付手段による音量設定値にかかわらず特定ボリューム値に設定する特定状態処理を実行可能なものであり、

前記可聴ボリューム調整手段による前記特定状態処理によって前記特定ボリューム値に

設定されている期間中においても、遊技者による操作がなされる都度、前記音量設定値受付手段によって演出音の音量設定値の変更が受け付けられるが、当該特定ボリューム値に設定されている期間が終了されない限りは、該変更された音量設定値が演出音の可聴ボリュームとして反映されることはないようになっており、

さらに、

前記可聴ボリューム調整手段による前記特定状態処理によって前記特定ボリューム値に設定されている期間が終了されるときには、該期間が終了された時点における前記音量設定値受付手段による音量設定値が反映されるかたちで前記可聴ボリュームが調整されるが、前記音量調整確認音については前記チャンネルに対する割り当てこれ自体が行われず、該音量調整確認音とは異なる演出音が前記チャンネルに対して割り当てられている状況にあれば該演出音が前記調整された可聴ボリュームで出力されうるようになっており、

さらに、

前記可聴ボリューム調整手段による前記特定状態処理によって前記特定ボリューム値に設定されている期間は、前記報知音割当手段による前記扉開放報知音の出力が終了した以降も継続されうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上記従来の遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記事情に鑑みなされたもので、遊技の興趣が低下することを抑制可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

音データの割り当て対象とされるチャンネルの数が有限とされ、開閉可能な扉部を有する遊技機であって、

抽選遊技の進行に応じて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

当該遊技機の状態を検出する状態検出手段と、

当該遊技機が扉開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、複数種類の報知音のうち扉開放報知音を前記チャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な報知音割当手段と、

各種の演出音をチャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な演出音割当手段と、

遊技者による操作に基づいて演出音の音量設定値の変更を受け付ける音量設定値受付手

段と、

前記音量設定値受付手段による音量設定値に基づいて演出音の可聴ボリュームを調整可能な可聴ボリューム調整手段と

を備え、

所定の状況にあるときに前記音量設定値受付手段によって演出音の音量設定値の変更が受け付けられて、該変更された音量設定値が反映されるかたちで前記可聴ボリューム調整手段によって前記可聴ボリュームが調整されると、前記チャンネルに対して演出音の1つである音量調整確認音を割り当てて出力しうるものであり、

前記可聴ボリューム調整手段は、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音のチャンネル割り当てがなされている状況において当該遊技機が前記扉開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、前記表示演出の進展に応じた前記演出音割当手段による各種の演出音のチャンネル割り当てこれ自体は継続されるなかで、演出音の可聴ボリュームを、前記音量設定値受付手段による音量設定値にかかわらず特定ボリューム値に設定する特定状態処理を実行可能なものであり、

前記可聴ボリューム調整手段による前記特定状態処理によって前記特定ボリューム値に設定されている期間中においても、遊技者による操作がなされる都度、前記音量設定値受付手段によって演出音の音量設定値の変更が受け付けられうるが、当該特定ボリューム値に設定されている期間が終了されない限りは、該変更された音量設定値が演出音の可聴ボリュームとして反映されることはないうくなつてあり、

さらに、

前記可聴ボリューム調整手段による前記特定状態処理によって前記特定ボリューム値に設定されている期間が終了されるときには、該期間が終了された時点における前記音量設定値受付手段による音量設定値が反映されるかたちで前記可聴ボリュームが調整されるが、前記音量調整確認音については前記チャンネルに対する割り当てこれ自体が行われず、該音量調整確認音とは異なる演出音が前記チャンネルに対して割り当てられている状況にあれば該演出音が前記調整された可聴ボリュームで出力されうるようになつてあり、

さらに、

前記可聴ボリューム調整手段による前記特定状態処理によって前記特定ボリューム値に設定されている期間は、前記報知音割当手段による前記扉開放報知音の出力が終了した以降も継続されうる

ことを特徴とする。